

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

特種東海製紙株式会社
(東証PRM3708)

2026.02.10

売上高は増収 営業利益・経常利益・四半期純利益いずれも増益

- 生活商品事業における価格改定効果や環境関連の続伸等により増収・増益

（単位：百万円）	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高	71,251	71,902	+651	+0.9%
営業利益	2,876	3,541	+665	+23.1%
経常利益	4,822	5,029	+207	+4.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,700	4,027	+327	+8.8%

(単位:百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
産業素材	売上高	33,688	33,791	+103	+0.3%
	営業利益	677	848	+171	+25.3%
特殊素材	売上高	15,991	14,928	▲1,063	▲6.6%
	営業利益	1,163	1,139	▲24	▲2.1%

産業素材

- 古紙や購入パルプ等の原燃料価格が高止まりするなか、設備トラブルで1.5カ月程度水力発電による売電が停止した前期に対する反動増等により増収・増益

特殊素材

- 24年10月からの価格改定効果が寄与した一方、2Qと比して特殊印刷紙の販売数量の減少幅が拡大したこと、減少幅はなだらかになったものの特殊機能紙の調整局面が続いたこと、コスト増加の継続等により減収・減益

(単位:百万円)		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
生活商品	売上高	14,353	14,563	+210	+1.5%
	営業利益	547	751	+204	+37.1%
環境関連	売上高	12,514	13,483	+969	+7.7%
	営業利益	378	702	+324	+85.4%

生活商品

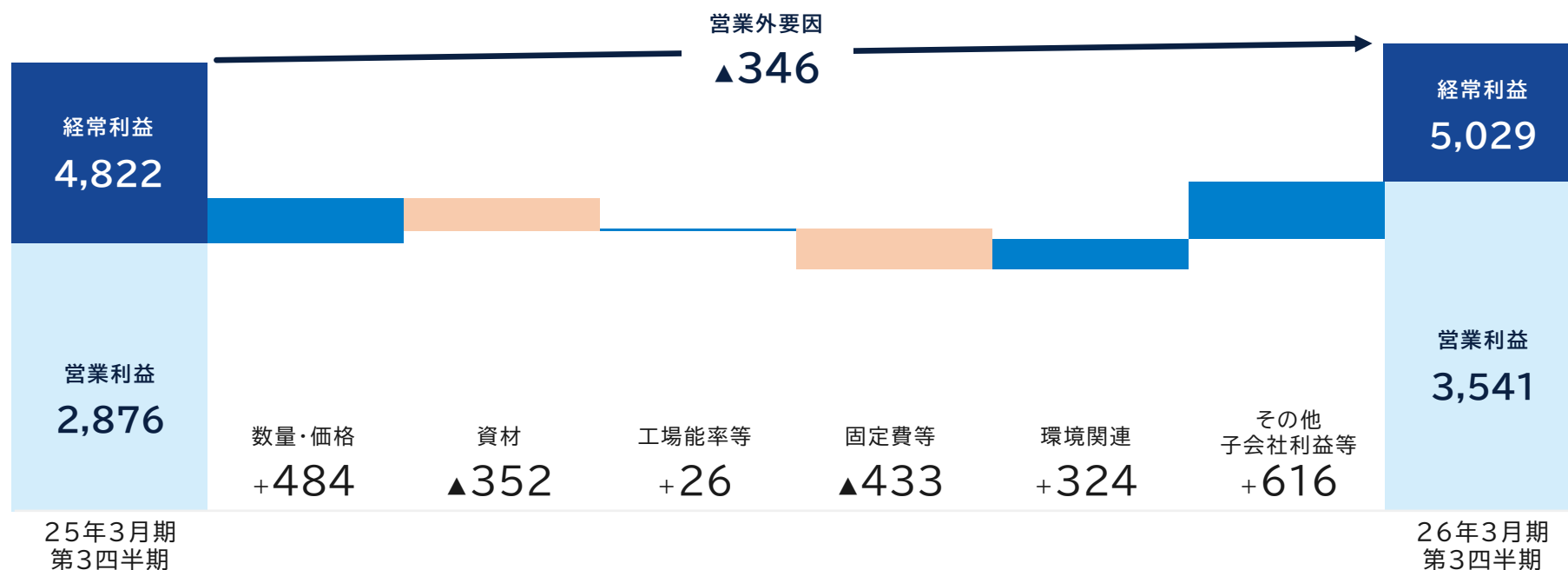
- 期初からの価格改定効果に加えて販売数量が堅調なトイレットペーパー、販売数量は前年同期を下回ったものの、同じく価格改定効果の発現で続伸したペーパータオル、ラミネート製品により増収・増益

環境関連

- 廃棄物の収集を主な業務とするグループ会社の回復や、前期グループ化したりサイクル関連会社の損益がフルで寄与したこと(前期は6か月分)、土木工事の受注増加、前期計上された一過性のDD費用が当期は発生していないこと等の要因により増収・増益

利益の増減要因(前年同期比)

(単位:百万円)



- 生活商品における価格改定効果や水力発電による売電の反動増などにより数量・価格要因で+484
- 製紙事業全般における原燃料価格の高止まりにより資材要因で▲352

- 人的資本の有効活用に伴う労務費等により固定費が増加(▲433)した一方で、環境関連は続伸(+324)
- その他要因は、来期に予定する特殊素材における生産設備の更新工事に伴う一部製品の在庫積み増しにより固定費の一部が在庫に滞留したことが主な要因





※ 本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。